

淡路地域ビジョン（現行版）の概要と構成

第Ⅰ部 ビジョン策定から改訂までのあゆみ

第1章 従前ビジョンの概要

第2章 ビジョン委員の活動

第3章 地域づくりの取組

第4章 数字で見る変化

第Ⅱ部 新たな“国生み”をめざして（改訂ビジョン）

第1章 淡路島を取り巻く環境の変化

第2章 淡路島の直面する課題

第3章 淡路島が持つ可能性

第4章 淡路地域ビジョンの理念

理念1：命をつなぐ“持続可能な島”

理念2：「経済」「社会」「環境」の調和がとれた新たな“幸せ社会”

理念3：環境立島“公園島淡路”の理念の継承と発展

第5章 淡路地域ビジョンの目標

1 目標

「環境立島あわじ」～人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”へ～

2 実践目標と行動指針

〈実践目標〉

- (1) 誰もが役割を持ち、地域の宝が生きる島づくり
- (2) 個性と活力にあふれ、新たな価値を生み出す島づくり
- (3) 自然とのつき合い方を再考し、その恵みに支えられた島づくり
- (4) 経済、社会、環境が調和し、命をつなぐ島づくり

第6章 ビジョン実現のためのポイント

第7章 目標の指標化による検証

淡路地域ビジョン 全体概要

第1部 ビジョン策定から改訂までのあゆみ

1 従前のビジョンの概要

- 〈目標〉
人と自然の豊かな調和をめざす環境立島「公園島淡路」
〈実践目標及び行動指針〉
①花いっぱい美しい島、②文化が広がる島、③人をはぐくむ島、④魅力ある産業を興す島
⑤安全で安心な島、⑥心あふれる交流の島
- 2 ビジョン委員の活動
3 地域づくりの取組
4 数字で見る変化
(経済) 総生産額の減少、一人当たり市町民所得の減少、(社会) 急速な人口減少・高齢化、
(環境) 製造業不振を主因とした温室効果ガスの削減、環境意識の高まり

第2部 新たな“国生み”をめざして(改訂ビジョン)

■1 淡路島を取り巻く環境の変化

- (1) 世界の現状と課題
①地球環境の危機、②資源枯渇の可能性、③経済破綻の可能性、④社会崩壊の可能性
(危機をもたらしたもの)
①大量の化石燃料消費、②経済的利益偏重の市場原理主義
- (2) 日本の現状と課題
(経済) 成長の停滞、地方経済の衰退、(社会) 人口減少・少子高齢化、第1次産業の担い手不足、地域社会の歴史、文化、伝統の喪失(環境) 地球温暖化、生物多様性の喪失、自然災害

■2 淡路島の直面する課題

- (経済) ①地域経済の縮小、②若者の流出、③地域産業の課題(瓦産業の不振、農漁業の生産量減少と後継者不足、宿泊観光客の伸び悩み、健康福祉や環境関連の需給のミスマッチ等)
(社会) ①都市機能の形骸、②空間管理の荒廃、③コミュニティの維持困難、④学校の小規模化、⑤少子高齢化(一人暮らし高齢者の増加、家庭の育児力の低下、労働者不足、伝統芸能の後継者不足等)、⑥交通基盤(高額の高速道路料金、島内路線バス・海上交通の縮小)
(環境) ①地球温暖化、②生態系の危機、③資源枯渇、④淡路らしい景観の喪失、⑤自然災害

■3 淡路島が持つ可能性 一種古照今(古を覆えて、今を照らす)

- (1) 淡路島が担うべき役割
古事記序文にある「種古照今」は、古き時代を顧み、現代の足りないところを補い学ぶこと
①他地域にない「国のはじまりは淡路島」という古き歴史に立ち寄り、国の基本的な方向を見直す
②“地域の物語”を掘り起こし、振り返り、そこに住む人々の行動に今後の規範を導く
- (2) 淡路島の歴史から見えてくる未来
「淡路の海上交通と道筋」海上交通を見直し、淡路島を関西の交通の要とする
「御食国“淡路島”」淡路島を食の拠点とし、第1次産業を軸として社会全体を見直す
「淡路島のエネルギー」山林資源活用を歴史が生かしたバイオマスエネルギーを積極させる
「淡路島の技術」先進的技術導入の歴史を生かし、地域適正技術を生かした産業を創出する
「水不足と水資源管理」乏しい水資源を分配管理した歴史を生かし「島内の水循環」をつくる
「山岳信仰からみえる自然との共生」自然の恵みの有限性を踏まえ「自然環境の尊重」を考へる
「厳守の島と文化・伝統意識」「人格形成」や「集落の活力」を生み出す集落統合の場を作る
「淡路島の人口の推移」自然の恵みを引き出す淡路島の風土と文化が調光を浴びる

■4 淡路地域ビジョンの理念

<3つの理念>

- 1 命をつなぐ“持続可能な島”
命には、時代を超え、世代を超える“横のつながり”と、あらゆる生き物との“横のつながり”の2つがあり、こうしたつながりを大切に持続可能な社会を実現する。
- 2 “経済”“社会”“環境”の調和がとれた新たな“幸せ社会”
経済、社会、環境の調和を大切に価値観を共有し、子どもたちがやりがいのある仕事に希望を見だし、幸せを実感できる社会を実現する。
- 3 環境立島“公園島淡路”の理念の継承と発展
人と自然の新たな関係を作り出す精神(文化)の確立と科学技術の開発と導入による地域社会の再創造を目指す「環境立島“公園島淡路”」の理念の継承と発展をめざす。

■5-1 淡路地域ビジョンの目標

環境立島あわじ

～人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”へ～

■5-2 4つの実践目標

実践目標1 誰もが役割を持ち、地域の宝が生きていく島づくり

地域における「参画と協働」を進め、地域の担い手、ビジネスリーダー、オピニオンリーダーなど、淡路島の未来を託せる人材を育てる。
それぞれが持つ「知恵」、「技術」、「個性」、「郷土への誇り」を活かし、すべての人々に役割や居場所があり、生涯現役で暮らせる島を目指す。また、家庭や地域で、一人ひとりが大切にされ、互いに助け合い、支え合っていることが実感でき、「自助」、「共助」、「公助」のバランスがとれた島を目指す。

実践目標2 個性と活力にあふれ、新たな価値を生み出す島づくり

淡路島の歴史や文化に育まれた地域資源を生かし、地域内外との連携をとりながら、新たな価値観と豊かな発想で付加価値の高い産業を生み出す。
若者が就労できる機会を増やし、自らが自分に合う働き方(生き方)を見だし、適正報酬で一人ひとりが生きていける小さな企業を興すという主体的な行動を支援する。
地産地消など、できるだけ地域内で消費し、淡路島から外部に過大に流出している富を内部に循環する仕組みづくりを進め、地域経済の自立を目指す。

実践目標3 自然とのつき合い方を再考し、その恵みに支えられた島づくり

自然への畏敬の念や命のつながりを自覚するとともに、過去の災害の教訓を深く記憶にとどめ、これからの生き方、暮らし方に生かしていく。
自然に恵まれた淡路島の価値を生かした地域づくりを進め、グリーン経済を振興するとともに、環境を生業とする「グリーンカラー」と呼ばれる人材を生み出し、育てる。
自らの「命」を支える豊かな自然の価値を認め、次世代へ伝えるために、多様な生態系を社会的、経済的、さらにはスピリチュアルな視点から評価した上で、地域適正技術の活用により、人と自然が協働することで、新たな共生空間の形成をめざす。

実践目標4 経済、社会、環境が調和し、命をつなぐ島づくり

経済、社会、環境の調和について関心を持ち、真の幸せ(豊かさ)が実感できる、淡路島らしい暮らしを実現するための「仕組み」をつくる。
ビジョンの実践過程とその成果を、「新たな国生み神話」として島内外や世界に広く発信し、外部からの意見などを取り入れ、次のステップに生かす。

■6 ビジョン実現のためのポイント

- ① ビジョンの普及と共感
- ② あらゆる主体の参画
- ③ 行動や事業に応じた適切な協働と役割分担
- ④ 実現を支援する「仕組み」の構築
- ⑤ 的確なフォローアップ(評価、見直し等)

■7 目標の指標化による検証

「幸せ指標」の設定と活用
① 経済、社会、環境の豊かさを総合して「幸せ」を定義
② 各分野の総合指標として「幸せ指標」の設定を目指す
③ 3つの側面ごとに地域社会の状況を把握し、ビジョンをフォローアップ

目標を達成するための行動指針

実践目標1: 誰もが役割を持ち、地域の宝が生きていく島づくり

(教育・文化)	<ul style="list-style-type: none"> 精神的にも体力的にもたくましく、個性輝き、命のつながりを大切に子どもたちを育てます。 地域の人、モノ、自然、歴史を学習し、それらを活用します。 伝統的な文化を継承、発展させます。 芸術を鑑賞し、新たな文化を創造します。 生涯学習・生涯スポーツを推進します。 災害の記憶や記録を継承し、災害に強い地域社会を構築します。
(健康・福祉)	<ul style="list-style-type: none"> 年代層に応じた健康を増進する取組を進めます。 子育てを地域で支援できる仕組みなど、安心して出産し、子育てのできる環境を整えます。 一人暮らしの高齢者や過疎地域でも、安心して暮らせる医療・福祉システムを構築します。 高齢者や障害者などの事情に対応し、男女の別なく、誰もが個人として尊重され、生きがいを持って働く就業機会や社会参加の機会を増やします。
(まちづくり・地域づくり)	<ul style="list-style-type: none"> 花とみどりにあふれ、淡路島らしい優れた景観やアメニティの豊かな地域空間を創造します。 全島一斉清掃や深層ゴミの清掃作業を推進し、ゴミのない美しいまちを作ります。 誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。 交通弱者に優しく、環境負荷の少ない地域交通をつくります。 孤立せず、繋がりのある生活を可能にするコミュニティや住環境をつくります。 ボランティア活動、地域づくり活動を促進し、社会的企業を育成します。 異文化交流を積極的に進め、異文化理解を促進します。

実践目標2: 個性と活力にあふれ、新たな価値を生み出す島づくり

(地域の経済・産業)	<ul style="list-style-type: none"> 物品やサービスの地産地消の取組を進め、地域経済の循環と産業の競争力向上を図ります。
(既存産業の振興)	<ul style="list-style-type: none"> 多様な形態の農漁業への就労について検討し、新規就業者を積極的に受け入れる仕組みを作るとともに、新しい農と食の展開に向けて人材育成に取り組みます。 食のブランド化の取組を進めるとともに、地域の食料と文化を生かした「食の文化」を創造し、発信します。 農林水産業の6次産業化や食と農を生かした国際的な交流拠点づくりを進めることにより地域産業を振興します。 地産産業を再評価し、新しい時代に適合した展開を図ります。 地域に適合した新しい技術を積極的に導入し、地域産業の競争力を高めます。 おもてなしの心を持って、国内外の観光客の受入態勢や交流基盤を整え、観光客や国際会議の誘致を進めます。 都市住民との交流やグリーンツーリズムを促進します。 スローライフな田舎暮らし、淡路島らしい自然と共生する暮らしを提案し、定住・交流人口の増大をめざします。
(新産業の創出)	<ul style="list-style-type: none"> 地域内外の連携による創造的な取組を促進し、新産業の育成を行います。 環境配慮型企業や農業関連企業を積極的に育成、誘致します。

実践目標3: 自然とのつき合い方を再考し、その恵みに支えられた島づくり

(人と自然)	<ul style="list-style-type: none"> 自然への畏敬の念や命のつながりを学ぶ機会をつくります。 住民や企業による自然の保護・再生活動を推進します。 「環境立島淡路」島民会議により推進されている島民運動に積極的に参加します。 外来種の駆除、自生種による緑化活動、放牧竹林や里山・星海の整備など生態系の多様性を保全する取組を進めます。 過去の教訓を生かし、ハードとソフトが一体となった防災・減災の地域づくりを促進します。
(エネルギー・資源)	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー自給と自治を目指して地域内生産を促進します。 エネルギー消費削減の取組を進め、積極的に低炭素化を推進します。 ごみの減量と資源循環を進めます。
(自然の恵みと生態)	<ul style="list-style-type: none"> 自然の恵み(生態系サービス)を賢く使う取組を進めます。 自然、歴史、生活、文化に育まれた淡路島らしい景観を、新たな技術を導入して守り育てます。 新たな地域適正技術を研究し、淡路島の自然素材や伝統技術を元に生業(なりわい)を生み出します。

実践目標4: 経済、社会、環境が調和し、命をつなぐ島づくり

(学ぶ)	<ul style="list-style-type: none"> 経済、社会、環境の調和について、暮らしの中で意識し、学び、ともに考える機会を増やします。
(つくる)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自然や文化に適合し、環境に優しく、淡路島らしい暮らしを実現するための制度や仕組みを生み出します。 淡路島と両隣のビジョンを持つ国内外の地域と、国際的なネットワークをつくります。
(発信する)	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンの取組をフォローアップし、実践過程や成果を国内外に発信します。

神戸地域ビジョン改訂版(概要)

1 神戸地域の魅力と課題

① 私たち一人ひとりが抱く神戸の魅力

- ① 異国情緒あふれる豊富な文化的蓄積や海と山の豊かな自然に恵まれている。
- ② 阪神・淡路大震災の経験等をふまえたボランティア活動・まちづくり活動等が地域の人々によって育まれている。
- ③ 生協活動や消費者活動等、先導性のある取組が地域の人々によってなされている。

これらの魅力をより神戸らしい魅力として高め・発信し、もっと住みやすく・活力あるまちにできると考えます。

② 神戸の魅力を高め、もっと住みよいまちとするための課題

- ① 今後、人口の偏在化(人口が増加する区や減少する区の混在)や高齢化の進展が見込まれ、これらに対応した地域づくりや子育て環境の整備等、地域力の強化に取り組むことが求められる。
- ② 地球温暖化が進むなか、神戸で開催されたG8環境大臣会合等を通じて高まった循環型の地域構造やライフスタイルづくりへの意識を実践へとつないでいくことが求められる。
- ③ 六甲山麓の自然環境の保全と活用や都市農業の推進等、自然と共生した暮らしや地域づくりが求められる。
- ④ 兵庫運河や異人館等の歴史・文化資源を活かした地域の活性化、ウォーターフロントへの都市機能の導入等、「みなとまち神戸」の魅力を高める新たな賑わいづくりが求められる。
- ⑤ 阪神・淡路大震災やグローバル化の影響で、港湾機能の優位性を軸とした経済活動が停滞するなど、地域間競争力が低下。阪神港(大阪港・神戸港)の国際コンテナ戦略港湾としての整備等の動きも捉えながら、県下の牽引役として次世代産業等を育むことが求められる。
- ⑥ 次世代スーパーコンピュータ等を活かすつつ、医療産業都市構想のいっそうの推進を図るなど、人・もの・情報の交流・融合を進め、地域の活力を高めていくことが求められる。

2 神戸地域の将来像<「楽しいまち・神戸」をめざそう>

① 地域の将来像 ※めざすべき神戸地域の将来像を提案

【夢提案1】:人々が集い、喜びと感動が共有できる「楽しいまち・神戸」をめざそう。
→ 阪神・淡路大震災の困難な状況乗り越えていくなかで、何かが達成できた時の「楽しさ」を経験。こうした経験を受け継ぎ、地域づくりの目標とする。

② 地域のめざすべき都市像 ※将来像を実現するために求められる都市づくりの方向性を提案

【夢提案2】:

- ① 『誰もが主役になれるまち - 市民自律都市・神戸-』
→ 市民自律のもと、誰もが得意な分野で主役になれるまちをめざす。
- ② 『世界に挑戦できるまち - フロンティア都市・神戸-』
→ 未開拓の分野に果敢に挑戦し、世界に通用する多文化共生都市として、日本と県下各地の未来を先導するまちをめざす。
- ③ 『感動を分かち合い、癒されるまち - コミュニケーション都市・神戸-』
→ 人の心に感じ響き、自然の豊かさや助け合うコミュニティに心安らぐまちをめざす。

3 実現のプロセス <楽しもう 神戸>

① 実現のプロセス ※ 地域の将来像の実現に向けた市民社会のあり方や地域づくりの方向性を提案

- 【夢提案 3】:歴史的な市民活動の蓄積をふまえ、自律した市民による社会を築こう。
- 【夢提案 4】:コミュニケーション・チャンネルを広げ、人と人の助け合い、他地域・世界とのつながりを深めよう。
- 【夢提案 5】:情報・教育・支え合う仕組みなど、自律のための社会的な基盤を強化し、活用しよう。
- 【夢提案 6】:豊かな文化が息づく、生活するまちの魅力を高めよう。
- 【夢提案 7】:様々な担い手が連携して、複雑で多岐にわたる「コミュニティ」の課題に取り組もう。
- 【夢提案 8】:地域の自律と連携を担う組織と仕組み(神戸モデル)づくりを進めよう。

② 実現のプロセス2 ※ 地域の将来像を実現するために求められる市民の具体的な取組について提案

- ① 安心・安全な神戸の暮らしづくり
【夢提案 9】:災害・犯罪等から暮らしを守る - 安心・安全なまち 神戸をつくりましょう。
【夢提案 10】:支援を必要とする人たちが安心・健やかに生きがいを持って暮らせるまち 神戸をつくりましょう。
- ② 次代を担う神戸の人づくり
【夢提案 11】:神戸子ども・青少年を健やかに育て・見守りましょう。
- ③ 神戸の自然と融合した循環型の社会づくり
【夢提案 12】:「農」と結びあえるまち - 「農都・神戸」を築きましょう。
【夢提案 13】:循環型のライフスタイルづくりを神戸から進めましょう。
【夢提案 14】:自然との共生のシブカ私たちが「六甲山」を活かしましょう。
- ④ 神戸らしいグローバルな魅力づくり
【夢提案 15】:神戸らしいグローバルな魅力を育て、発信しましょう。
- ⑤ 神戸の強みを活かした地域経済の活力づくり
【夢提案 16】:神戸経済の活性化にチャレンジしましょう。

※ 神戸の魅力を活かした多様な交流活動を展開し、ビジョンの実現に向けた活動を地域へと広げていく。
→神戸ゆめまつりの実施等

4 神戸地域ビジョンの実現に向けて

① 市民の役割 ※ ビジョンの実現に向けた市民の役割を整理

- ① 住民(生活者)
一人ひとりが社会の一員として行動し、地域コミュニティ等にも主体的に参画することが求められる。
- ② 地域団体等
地域に密着したきめ細かなサービスの提供等、地域団体等が持つ特性を活かし、よりよい地域づくりを進めることが求められる。また、新しい「公」領域の活動の担い手としても期待される。
- ③ 企業
地域の一員として地域経済の活性化や雇用の創出等に取り組むほか、社会貢献活動等を通じて地域の発展に貢献することが求められる。また、新しい「公」領域の活動を担うことも期待される。
- ④ 学校
学校での学びや社会体験等を通じ、若者が地域での活動に参画する等、地域力強化につながる取組を進めることが求められる。また、学校が持つ人材・施設等を地域へと還元することも期待される。

② 行政への提案 ※ ビジョンの実現に向けた行政への提案

行政の側でも、市民と向き合うスタンスを転換するとともに、プロセスの重視や民の活力を活かすなど、参画協働型行政の推進をめざして取組を進めていくことが求められる。

改訂版「西播磨地域ビジョン」

基本姿勢

～光と水と緑でつなぐ～元氣・西播磨～

1. 西播磨地域ビジョン策定(平成13年2月)以後の地域の変化、地域の特徴的な動き

- (1) 西播磨地域の変化
 - ①市町合併の促進 ②人口減少 ③進む少子高齢化
- (2) 西播磨地域の特徴的な動き
 - ①地域住民の参画と協働の取り組みが進展 ②地域の交通基盤の整備
 - ③播磨科学公園都市のまちづくり ④度重なる自然災害
- (3) 2040年の展望
 - ①更に進む人口減少 ②更に進む少子高齢化と生産年齢人口の減少
 - ③小規模集落の増加 ④地域活性化に向けたまちづくりの進展

2. 地域の夢(4つの夢と目標像)

ふれあいを大切に、豊かな人間関係をつくろう

- ①子育てを地域全体で支援し、子どもが健やかに育つ社会をつくろう
- ②女性が働きながら生き生きと暮らせる社会をめざそう
- ③高齢者が経験や能力を活かして、元気に地域で活躍できる社会をめざそう
- ④ボランティアの輪が広がる、暮らしやすいコミュニティをつくろう
- ⑤ふるさとに誇りを持ち、自立した地域をめざそう
- ⑥生きがいをもって働ける社会をめざそう
- ⑦情報通信技術(ICT)を活かした地域づくりをめざそう



住みなれた地域で支え合ってともに生きよう

- ①高齢者が安心して暮らせる地域をつくろう
- ②障がいのある人が安心して、生きがいを持って暮らせる地域をつくろう
- ③誰もが暮らしやすい「ユニバーサル社会」をめざそう
- ④医療等や食の安全が確保された安心な地域をめざそう
- ⑤いつまでも健やかで心豊かに生活できる社会をめざそう
- ⑥災害に強いまちづくりをめざそう
- ⑦安全で安心して暮らせる地域をめざそう



人と自然が共生する美しい西播磨をめざそう

- ①ものが大切にされる「循環型社会」をめざそう
- ②低炭素社会をめざし、地球環境を守るライフスタイルをめざそう
- ③美しい揖保川、千種川、西播磨のなごさをつくろう
- ④多様で健全な森づくりを進めよう
- ⑤環境に配慮した農林水産業と活力ある農山漁村をつくろう



にぎわいと交流の元氣な地域をつくろう

- ①にぎわいと交流の地域をつくろう
- ②地域資源を活かした交流を進めよう
- ③伝統の祭りと新しいイベントを展開し、西播磨文化を発信しよう
- ④県際交流、国際交流を盛んにし、多文化共生の地域づくりを進めよう
- ⑤播磨科学公園都市を中心に産業基盤の整備を進めよう
- ⑥企業の創造的活動や社会貢献を応援しよう



3. 新たな地域の夢を実現するための重点プログラム

改訂版「西播磨地域ビジョン」の実現のため、地域住民主体の協働プロジェクトなど、西播磨地域での取組の指針となる具体的項目をまとめた。

(1) 西播磨重点アクション項目

- 第1の夢 人の輪社会・西播磨
 - アクション1: 子育て支援情報の収集と発信
 - アクション2: 青少年の健全育成活動
 - アクション3: インターネット(地域SNS)の活用による交流の推進
- 第2の夢 安全安心社会・西播磨
 - アクション4: 福祉(安心安全)マップなどの作成
 - アクション5: 医療機関の適切な利用の呼びかけ
 - アクション6: 自主防災組織の活性化と住民の防災・減災意識の啓発
 - アクション7: 防犯・交通安全の意識啓発
- 第3の夢 環境王国・西播磨
 - アクション8: 環境学習の推進
 - アクション9: 森・川・海の活動の連携と意識啓発
 - アクション10: マイバッグ運動やゴミゼロ運動など生活環境問題
 - アクション11: 地産地消、地元製品のブランド化などの取組
- 第4の夢 きらきら西播磨
 - アクション12: 県際交流の推進
 - アクション13: 地域資源を活かした交流の推進
 - アクション14: 地域のにぎわいづくり
 - アクション15: 鉄道やバスなどの公共交通機関の利用促進

(2) シンボルプロジェクト

つながるひろがる「出る杭」西播磨元氣プロジェクト

— 交流と魅力発信で元氣な西播磨をつくる —

① シンボルプロジェクトの趣旨

西播磨地域は、夢をもって新しい分野に挑戦し西播磨を元気にしようと取り組んでいる団体や個人を「出る杭」として育成し、地域を活性化していく「出る杭プロジェクト」を推進してきた。今後も頑張る組織や人を応援し、それぞれをつなぐ交流を進めるとともに、西播磨の誇るべき歴史・文化・伝統、産業、自然環境などに目を向けその魅力を地域内外に発信し、元氣な西播磨づくりをめざす。

② 実践活動例

- ・ 地域間の交流と西播磨の魅力発信
- ・ 西播磨の歴史・文化・伝統の再発見
- ・ 「出る杭フェスティバル(仮称)」の開催



出る杭プロジェクト「第10回出る杭大会」

4. 西播磨地域ビジョンの実現に向けて

(1) 西播磨地域ビジョンの推進

改訂版西播磨地域ビジョンでは、県民自らが取り組む具体的な行動については、「新たな地域の夢を実現するための重点プログラム」に、西播磨重点アクション項目とシンボルプロジェクトとして盛り込んでいる。

(2) 西播磨地域ビジョンのフォローアップ

- ・ 地域ビジョン情報誌「きらきら通信」の発行
- ・ 西播磨県民局ホームページでの情報発信
- ・ 西播磨地域夢会議の開催
- ・ 「美しい兵庫指標」など指標を用いた仕組みづくり

北播磨地域ビジョン 2020 “ひょうごのハートランド”をめざして

1 点検・見直し

○ 背景

- ・ 少子・高齢化など時代潮流の変化は、ビジョン策定時の想定を上回る早さで姿貌、これに伴う様々な地域課題が顕在化
- ・ 地域づくり活動の中で、目指すべき北播磨の姿や新たにに対応すべき課題が明確化

○ 視点

- ・ 北播磨の魅力ある地域資源、構造、交通、気候、風土などを十分活かし、「北播磨らしさ」を発揮させる。
- ・ すべての地域住民が将来像・目標を共有し、その達成に向け、活動を推進していくために、様々な主体の取組を促す。

2 将来像

ひょうごのハートランド

- ハートランドとは、
- 中原の地 中央の地、豊かな地 ○ 動と静の交わる場所—心臓— 交通と文化が交わる地域
 - 志（こころざし）の集まる地域 能動的な営みと夢や願いを持った人が集まる地域

【5つの地域像】

地域像 1 交流が広がる

集まる交流で活力を育む地域

- 交流資源を全面に押し出し、その価値を高めることにより、都市・地域間の交流人口が拡大し、交流による元気づくりを進める。

地域像 2 生活（くらし）の絆が深まる

家族や地域の生活（くらし）の絆を深めるとともに絆の力で安全安心を支える地域

- 「家族の絆」「地域の絆」「生活（くらし）の絆」をますます深め、より安全・安心に満ちた社会づくりに取り組む。
- 地域に潜在する専門知識・技術を有する人材のネットワーク化を図り、北播磨の未来を担う人づくりを推進する。
- 地域を挙げて一人暮らし高齢者や子どもへの声かけ、見守りを行う。

地域像 3 文化が花開く

芸術文化を暮らしに活かす地域

- 伝統文化や地域の歴史が子どもたちに継承され、郷土愛に満ちた地域で、音楽・芸術家と支援グループが活躍し、文化的で質の高い生活をめざす。

地域像 4 恵み豊かな環境が持続する

北播磨が持つ豊かな自然や生態系の調和した暮らしが持続する地域

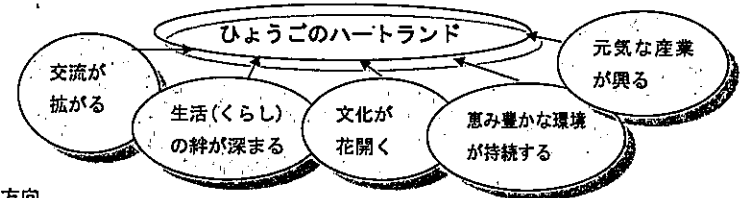
- 地域住民の環境意識をますます高め、自然環境の保全や森づくりへの取組を継続的にを行い、豊かな自然・生態系の調和した暮らしを守る。

地域像 5 元気な産業が興る

多様な産業が活性化し、だれもが生きがいをもち活躍する地域

- 地場産業の元気を取り戻し、新産業を創造し、希望に満ちた若者の就労をめざす。
- 北播磨が食料供給基地としての機能を果たし、地域住民に地産地消が浸透し、元気な農家による食の企業化を推進する。

“ひょうごのハートランド”をめざして



3 取組方向

地域像	取組方向
交流が広がる	1 都市との交流の拡大 2 公共交通の利用促進
生活（くらし）の絆が深まる	3 助け合い・支え合い地域システムの構築 4 地域で高齢者見守り 5 地域で子育て、未来を担う人づくり 6 地域医療、防災、防犯の取組の強化 7 命の教育、健康づくりの推進
文化が花開く	8 伝統文化の継承 9 地域の音楽・芸術家と活動支援グループの活性化 10 歴史の伝承
恵み豊かな環境が持続する	11 ため池、水田、森の生物が元気に暮らす環境づくり 12 生き生きとした北播磨の森づくり 13 環境に負荷をかけない新エネルギーの活用 14 ゼロエミッションの推進
元気な産業が興る	15 地場産業の活性化、地場産品の高付加価値化 16 新たな「しごと・働く場」づくり 17 未来を拓く「農」づくり 18 健康を育む「食」の普及